

会派創造 行政視察報告

今般、会派創造にて東京都狛江市へ行政視察をおこなったところ、概要以下のとおり。

【日程、参加者等】

平成 30 年 4 月 13 日

金子広和、町田昌弘、矢馳一郎、西塚和音、太田博希

【東京都 狛江市概況】

[市制施行] 昭和 4 5 年 1 0 月 1 日

[人 口] 8 1, 3 2 6 人 (平成 2 9 年 4 月 1 日現在)

[世 帯 数] 4 1, 2 3 5 世帯 (")

[面 積] 6. 3 9 km²

[概 況] 東京都下の多摩丘陵の東南端多摩川沿岸に位置しており、新宿から南へ約 1 4 k m、電車で 2 0 分の距離にあり、東京のベッドタウンである。また、全国で二番目に面積の小さい市であることも知られている。市内には古墳が多数残り、先述の多摩川の自然などと合わせて、風光明媚な光景が広がっている。枝豆など都心近郊農業もおこなわれている。

【視察項目】

狛江市における不登校児童生徒の支援内容及びフリースクールとの連携について

【視察内容】

1. 狛江市における不登校児童生徒の現状について。

(1) 不登校児童生徒数

平成 26 年度

小学生 16 人 (0. 5%) 中学生 43 人 (3. 26%)

平成 27 年度

小学生 14 人 (0. 43%) 中学生 44 人 (3. 31%)

(2) 復帰児童生徒数

平成 26 年度

小学生 5 人 (31. 25%) 中学生 11 人 (25. 58%)

平成 27 年度

小学生 6 人 (42. 86%) 中学生 11 人 (25%)

2. 市内のフリースクールの現状について。
フリースクール KOPPIE（狛江市岩戸北1-7-9 コミュニティトーケン3階）
地域で約15年の活動実績を持っている。（狛江市教育委員会事業報告書より）
3. 市内のフリースクールへの支援内容について。
 - （1）狛江市として提携している日本体育大学の大学生を派遣し、体育的活動などの支援をおこなっている。
 - （2）フリースクールに対し学習用の教科書等を提供している。
4. 市内のフリースクールとの連携内容について。
 - （1）適応指導教室が実施する体験活動を、フリースクール向けにも企画し、同日程にて実施している。
5. その他、不登校児童生徒への支援内容について。
 - （1）経済的に困窮した家庭の不登校児童・生徒が、フリースクール等で学習活動をおこなうための必要経費を負担している。
 - （2）年齢の若い臨床心理士による家庭訪問をおこない、学習支援や問題解決の手助けなどをおこなっている。
 - （3）適応指導教室にて宿泊体験学習などの課外活動なども企画、実施している。

【所感】

公教育や義務教育と民間機関や高等教育などといったそれぞれの立場を越えて、不登校になってしまった児童、生徒に寄り添おうとする姿勢が大変印象的だった。社会的状況の複雑化に伴い不登校となってしまう児童生徒も貧困、人間関係、不安、非行などその原因も多岐にわたり、学校、適応指導教室、フリースクールなどをそれぞれ階段と見立て、連携していく体制は、当市の不登校児童生徒への対応においても大変参考となる事例であると感じた。

（了）